

21 世紀教育および理工学部が総合情報処理センターへ期待すること

理工学研究科 鈴木 裕史

uc@cc.hirosaki-u.ac.jp

1. はじめに

21 世紀教育・情報系基礎科目主任として教育者の立場から演習・授業について、そして理工学部ネットワーク技術専門委員として研究者の立場からセンターの提供する Network およびメールサービスについて、日頃から感じていることを以下にまとめる。

2. 21 世紀教育の立場から

21 世紀教育・情報系基礎科目主任として

個人的にもっとも不満があるのは総合情報処理センター演習室内の配置である。現在は通常の講義室同様、正面にホワイトボードがあり教員は教室前方に位置する。しかし、PC を利用した演習・授業の場合、学生一人一人に PC があり、かつ本学のセンターには学生二人に対し 1 台の教員用 PC を映し出すモニターが配置されており、通常の講義のように教員と学生が相対する必要はほぼない。相対していることにより、教員からは学生のモニターを見ることできないという不具合がある。教員の位置は学生の後ろ側として、常に学生用モニターを確認できるようにすべきである。できうることなら、教員の着座位置はやや高い位置にあることが理想である。このような配置にすることにより、教員は自分の PC を操作しながら各学生の進捗状況を把握できる。この点は是非とも改善していただきたい。(実際のところ、ホワイトボードは必須ではない。教員は教員用 PC でエディタなりワープロなりを立ち上げて、必要なことを打ち込めばすべての学生が鮮明な文字を教員用 PC が映し出すモニターにて確認できる。) さらに付け加えるなら、教員用 PC の画面を映し出す LCD モニターが 2 人に 1 台ある現状では、天上からつり下げられている大型モニターは不要である。目の前に映し出されているのに、敢えて遠距離にある大型モニターを見ることは殆ど有り得ない。

また、PC 番号の振り方も考えていただきたい。現状は縦に振られているが、例えば単一学科に対して開講されている場合、学籍番号で PC を固定しようとするとう割り振りが複雑になり非現実的である。横方向に割り振ってあれば簡単に解決する問題であり、かつ単なる指定の仕方ですらにでもなることであろう。

出席管理システムに関してはかなり改善された。しかし、履修登録からこのシステムに反映されるまでの時間がかかりすぎる。やはり、履修登録システムと出席管理システムを有機的に統合し、リアルタイムで反映させることが不可欠であると思われる。

3. 研究者の立場から

Network 技術専門委員として

研究者の立場としては、Network の利用が主なものとなる。この点からは、不具合による Network や Server の停止も殆どなく、総合情報処理センターの仕事は概ね良好であるといえる。

さらなる要望があるとすれば、以下の三点である。

一点目はメールサービスについて。学内においてメールを利用する上では、全く問題がないレベルにあるといえる。しかし、提供されている webmail サービスである Active! Mail が使いにくいことこの上ない代物である。動作は遅く、必要なカスタマイズもできないか、できるとしても非常に判りづらいものである。使用に耐え得る webmail サービスの導入を可及的速やかに実行していただきたい。加えて、SPAM Mail 対策のいっそうの充実も急務であろう。

二点目は IP アドレス管理の DHCP 化について。IP アドレスの管理は、静的 IP により行われているが、DHCP の導入が望まれる。情報インフラの急速な進歩に利用者が追いついていないのが現状であり、末端利用者の知識およびスキルの低さを補うためにも DHCP の導入は急務である。知識・スキルの低さは単なる悪ではなく、家電のように情報インフラが使い得る様になったということの裏返しである。問題は、インフラとしてのセキュリティが大型計算機共同利用時代から抜けきっていないことである。現状では Network やメールが利用できないと教育・研究活動に支障をきたしてしまう。ということは、利用者の知識向上・スキルアップを望むのは現実的ではない。となれば、システム側で対応せざるを得ない。ハード・ソフトのいずれも、システム的には数年前に DHCP 導入が可能になっているはずである。センターの人的リソースという面から、移行が簡単ではないのは十分に承知している。それでも、早急な DHCP 導入を強く望む。

三点目は無線 LAN 接続について。現在、既に無線 LAN サービスは提供されており、DHCP 化されている。このことは非常に喜ばしいことである。が、致命的な欠陥がある。それは認証システムである。現状では web 認証しか出来ず、非常に不便な状況にある。無線 LAN に限れば、MAC Address 認証への移行は殆ど障害がないはずである。可及的速やかに MAC Address 認証への移行が望まれる。

さらに付け加えることがあるとすれば、ネットワーク機器設置申請の web 申請への移行である。これも数年前からシステム的には可能になっているはず。DHCP 化、認証システムとともに、web 申請を可及的速やかに実現して欲しい。如何なる理由があろうとも、ずるずると先延ばしにして良いことは一つもない。

4. おわりに

現在、総合情報処理センターが提供しているサービスは、概ね満足のいくものである。前回同様な要望を書いたのが 2010 年 1 月であった。その時点から進歩している部分もあるが、肝心要の部分は未だ放置されている状態である。さらなる引き延ばしは、センター・利用者双方にとって大きな不利益であろう。早急な改善をお願いする。